日本防犯設備協会　優良防犯機器認定基準

RBSS 0003-1

［デジタルレコーダ(防犯用)認定基準 別冊］用

技術報告書　様式一式

2008 年（平成 20 年）10 月 6 日　発行

2009 年（平成 21 年） 11 月 17 日　訂正

JSSA

社団法人 日本防犯設備協会

優良防犯機器認定基準

RBSS 0003-1［デジタルレコーダ（防犯用）認定基準　別冊］用

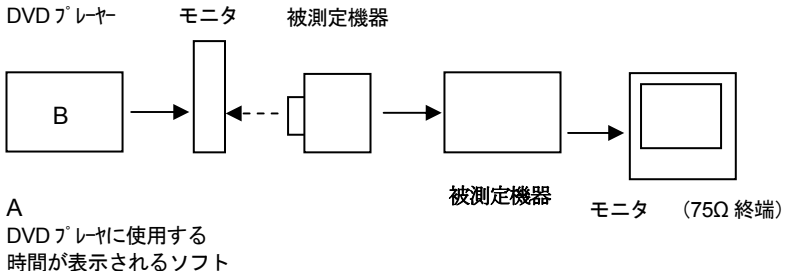
技術報告書　様式一式

1　項目

項　番	共通機能（必須事項）	
5.1.1	連続動作など	
5.1.2	記録画質と画像サイズ	
5.1.3	記録レート	
5.1.4	記録時間	
5.1.5	記録画像の取り出し	
5.1.6	ライブ画像の表示	
5.1.7	画面上への表示	
5.1.8	日時検索	
5.1.9	変速再生	
5.1.10	日時修正	
5.1.11	機器異常通知	
5.1.12	モードロック	
5.1.13	基本操作手順書	

項　番	高度機能（選択事項）	
5.2.1	高密度記録レート	
5.2.2	ハードディスク増設	
5.2.3	音声記録	

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技　術　報　告　書【型式　　】</td><td>測定日　年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　共通機能
5.1.1　連続動作など</td></tr>
<tr><td>性能の選択</td><td colspan="2">被測定機器が具備している性能の内、下記測定に該当するものは性能 1 です。
性能 1　連続動作性能</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">性能 1 の測定系統図を記載する。
 
</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table>
<tr><th>記号</th><th>機器名称</th><th>型式品番</th><th>製造会社</th><th>校正年月日
（購入年月日）</th></tr>
<tr><td>A</td><td>DVD ソフト</td><td>例：Test Signals on DVD</td><td>例：K.M.Lab</td><td>－</td></tr>
<tr><td>B</td><td>DVD プレーヤー</td><td></td><td></td><td>－</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">性能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を○で囲む）
合格／不合格</td><td rowspan="4">・小数点以下がある場合は、(1) 桁とする。
・MTBF は、一般に入力チャンネル数毎に異なる値であるので注意すること。</td></tr>
<tr><td>性能 1　N1</td><td colspan="2">連続動作性能でのコマ抜け数とコマ重複数の合計
5 分時（　　）コマ、30 分時（　　）コマ、55 分時（　　）コマ　平均発生率（　　.　　）%</td></tr>
<tr><td>性能 2　N2</td><td colspan="2">5 回停電後も記録動作に復帰すること。正常（　　）
又は UPS を使用する条件で記録動作に復帰すること。</td></tr>
<tr><td>性能 3　N3</td><td colspan="2">・MTBF（　　,　　）時間</td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記○がついた書類を提出します。
[　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書
[　] UPS 仕様書類
[　] 消耗部品と交換時期目安時間が記載されている書類
[　] 使用者が消耗部品と交換時期の情報を容易に入手できることを説明した書類</td><td>必要部数は別途指定</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（　行目）行目の定格・性能等の欄に、上記項目の性能が記載されています。</td><td></td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）</td><td>測定責任者
押印欄</td></tr>
</table>

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

技　術　報　告　書【型式　　】	測定日	年　月　日
会 社 名： 所属部署： 測 定 者：		
分　類 項　目	**5.1　共通機能** **5.1.2　記録画質と画像サイズ**	
機能の選択	被測定機器が具備している機能・性能に該当するものは、下記の中で○が付いたものです。（複数選択も可能） [　　] 機能 1：圧縮方式 [　　] 性能 1：記録画質 [　　] 性能 2：動画圧縮方式の記録画像の安定性 [　　] 性能 3：画像サイズ	
測定系統図	[標準構成 A　・　標準構成 B　・　標準構成 C　・　下記系統図　] を使用。	
測定条件		
測定器一覧	番号 / 機器名称 / 型式番号 / 製造番号 / 校正年月日 A B C	
添付資料	下記○がついた資料を提出いたします。 [　　] 機能 1：独自方式の概要説明 [　　] 性能 1：防犯用 HDR 標準画像評価シート（※1） [　　] 性能 1：評価結果画像「記録画像（電子データ）など」（※1） [　　] 性能 2：動画評価画像「評価映像の説明、記録画像（電子データ）」(※2)	※1 は必須 ※2 は動画圧縮方式の場合必須
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を○で囲む） 合格／不合格	
機能 1	圧縮方式は以下のとおりです。 静止画圧縮方式 [　JPEG　・　M-JPEG　・　JPEG2000　・　Wavelet　・　独自　] 動画圧縮方式 [　MPEG-2　・　MPEG-４　・　H.264/MPEG-4 AVC　・　独自　]	
性能 1	RBSS 画質を満たす画質設定は以下のとおりです。 画質設定名①[　　] 画質設定名②[　　] 画質設定名③[　　] 画質設定名④[　　] 画質設定名⑤[　　] □詳細な評価結果は資料を添付いたします。	・性能 1、性能 3 における、記録方式（サイズ違い）等のモードが複数の場合は、その内容が判るように記述すること。
性能 2	動画像再生の動いている人物・車などの識別良好、画くずれがなど起こさないこと。 判定 [　OK　・　NG　]	

RBSS 0003-1

性能 3　N1	基準値を満たす画質設定とサイズは、以下のとおりです。 画質設定名①[　　]　画像サイズ[　　×　　] 画質設定名②[　　]　画像サイズ[　　×　　] 画質設定名③[　　]　画像サイズ[　　×　　] 画質設定名④[　　]　画像サイズ[　　×　　] 画質設定名⑤[　　]　画像サイズ[　　×　　]	
機能表示書類	下記書類の中の○印の書類を添付します（複数選択可能） [　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書	必要部数は別途指定
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	頁（　行目）の画面表示設定等の欄に、上記項目の機能・性能が記載されています。	
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）	**測定責任者押印欄**

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技　術　報　告　書【型式　　】　　測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　共通機能・共通性能
5.1.3　記録レート</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">[　標準構成 A　・　標準構成 B　・　標準構成 C　・　下記系統図　]を使用。</td></tr>
<tr><td>測定条件</td><td colspan="2">（記入例）
・映像機器は、DVD プレーヤを使用。
使用ソフト：K.M.Lab 製、Test Signals on DVD、カウントアップ映像
・全チャンネルに入力
・被測定機器にアラーム信号を接続</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th>記号</th><th>機器名称</th><th>型式品番</th><th>製造会社</th><th>校正年月日</th></tr>
<tr><td>A</td><td>DVD ソフト</td><td>例：Test Signals on DVD</td><td>例：K.M.Lab</td><td>－</td></tr>
<tr><td>B</td><td>DVD プレーヤー</td><td></td><td></td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を○で囲む）
合格／不合格</td></tr>
<tr><td>機能 1　　N1</td><td colspan="2">連続記録の記録レート（合格／不合格）
半数のチャンネル　＝（　　）コマ／秒
その他のチャンネル＝（　　）コマ／秒</td></tr>
<tr><td>機能 2　　N2</td><td colspan="2">アラーム記録時の記録レート（合格／不合格）　機能 1 で代用（する／しない）
アラーム入力チャンネル＝（　　）コマ／秒
その他のチャンネル　　＝（　　）コマ／秒
□特記事項：機能 2 を満足できない場合は、機能 1 で代用することを可とする。</td></tr>
<tr><td>機能 3　　N3</td><td colspan="2">プリアラーム、ポストアラーム（合格／不合格）
プリアラーム：記録レート　＝（　　）コマ／秒、記録時間＝（　　）秒
ポストアラーム：記録レート＝（　　）コマ／秒、記録時間＝（　　）秒</td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で○印の書類を添付します（複数選択可能）
[　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（　行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）</td><td>測定責任者
押印欄</td></tr>
</table>

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

技　術　報　告　書【型式　　】		測定日　年　月　日
会 社 名： 所属部署： 測 定 者：		
分　類 項　目	**5.1　共通機能** **5.1.4　記録時間**	
添付資料	本機能が具備されていること説明する「記録時間の目安表」や「記録間隔表」などの書類（仕様書、取扱説明書、HP 掲載内容のコピー等のいずれか）を添付すること。	
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を〇で囲む） 合格／不合格	
機能 1	提出書類により、1 週間以上の記録ができることを確認	
機能表示書類	下記書類の中で〇印の書類を添付します（複数選択可能） [　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書	必要部数は別途指定
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	頁（　行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。	
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）	**測定責任者押印欄**

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

技　術　報　告　書【型式　　】		測定日　年　月　日
会 社 名： 所属部署： 測 定 者：		
分　類	**5.1　共通機能**	
項　目	**5.1.5　記録画像の取り出し**	
機能の選択	被測定機器が具備している機能に該当するものは、下記の中で○が付いた機能です。 （複数選択も可能） 機能 1 ［　内蔵ドライブ　・　内蔵メモリカードスロット　］ 機能 2 ［　外付けハードディスク・外付けドライブ・外付けメモリカードスロット　］ 機能 3 ［　PC 接続　］	
添付資料	・機能に関する技術解説がある場合は、別紙で説明する。 ・再生するソフトの提供方法	別紙 2 に添付します。
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を○で囲む） 合格／不合格	
機能 1	内蔵ドライブもしくは内蔵メモリカードスロットによる取り出し ・取り出し　［　可能・不可能　］ ・再生　　［　可能・不可能　］	
機能 2	外付けドライブによる取り出し ・取り出し　［　可能・不可能　］ ・再生　　［　可能・不可能　］	
機能 3	PC 接続による取り出し ・取り出し　［　可能・不可能　］ ・再生　　［　可能・不可能　］	
機能 4	画像情報が取り出せること ・取り出し　：［　可能・不可能　］ ・単画の場合：［　　］日時情報の出力、［　　］ファイル名による日時情報	
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します（複数選択可能） ［　］仕様書、［　］取扱説明書、［　］HP 掲載内容のコピー、［　］技術報告書	必要部数は別途指定
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	頁（　行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。	
備考		
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）	**測定責任者押印欄**

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td>技　術　報　告　書【型式　　】</td><td>測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　共通機能
5.1.6　ライブ画像の表示</td></tr>
<tr><td>機能の選択</td><td colspan="2">被測定機器が具備している機能に該当するものは、下記の中で〇が付いた機能です（複数選択も可能）。
[　] 機能１　単画面ライブ画像の表示機能
[　] 機能２　多画面ライブ画像の表示機能</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">[標準構成Ａ ・ 標準構成Ｂ ・ 標準構成Ｃ ・ 下記系統図]を使用</td></tr>
<tr><td>測定条件</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table><tr><td>記号</td><td>機器名称</td><td>型式品番</td><td>製造会社</td><td>校正年月日</td></tr><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を〇で囲む）
合格／不合格</td></tr>
<tr><td>機能１　　N1</td><td colspan="2">・評価測定値：ライブ画像の表示コマ数=（　　）コマ／秒</td></tr>
<tr><td>機能２　　N2</td><td colspan="2">・評価測定値：ライブ画像の表示コマ数=（　　）コマ／秒
測定した分割モード　4 分割、その他の分割（　　分割）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で〇印の書類を添付します（複数選択可能）
[　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（　行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）</td></tr>
</table>

少数点以下がある場合は、1 桁とする

必要部数は別途指定

測定責任者押印欄

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技　術　報　告　書【型式　　】　測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　共通機能
5.1.7　画面上への表示</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">測定系統図を記載する（系統図が複雑な場合や複数の場合は別紙添付すること）

信号発生器又はカメラより背景が白及び黒の信号を入力し単画面及び分割画面で文字を表示する。</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table>
<tr><th>記号</th><th>機器名称</th><th>型式品番</th><th>製造会社</th><th>校正年月日</th></tr>
<tr><td>A</td><td>信号発生器
又はカメラ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>B</td><td>標準モニタ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を〇で囲む）
合格／不合格</td></tr>
<tr><td>機能 1</td><td colspan="2">・表示機能が動作する、また表示設定変更が電源 ON/OFF せずに可能。
・アルファベット 26 種（大文字又は小文字又は混在）、数字 10 種が表示可能。
・単画面においてタイトル名称が半角 8 文字以上表示できる。
・記録を停止せずに表示／非表示あるいは移動が可能である。
・ライブと再生の識別ができる。
・現在の日時表示を画面のどこか 1 ヶ所に表示できる。
・再生は記録時間を表示できる。（日時情報は画像毎に保有している）</td></tr>
<tr><td>機能 2</td><td colspan="2">・日時表示はライブで分割画面・単画面の両方で識別が可能である。
・再生での表示は単画面での識別が可能である。
・タイトル表示は単画面での識別が可能である。</td></tr>
<tr><td>特徴</td><td colspan="2">（記載内容）
例：日本語対応（和文）</td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で〇印の書類を添付します（複数選択可能）
[　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（　行目）の画面表示設定等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）</td></tr>
</table>

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

測定責任者
押印欄

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技 術 報 告 書【型式 】 測定日</td><td>年 月 日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分 類
項 目</td><td colspan="2">5.1 共通機能
5.1.8 日時検索</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">［ 標準構成 A ・ 標準構成 B ・ 標準構成 C ・ 下記系統図 ］を使用。</td></tr>
<tr><td>測定条件</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table><tr><td></td><td>機器名称</td><td>型式品番</td><td>製造会社</td><td>校正年月日</td></tr><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を〇で囲む）
合格／不合格</td></tr>
<tr><td>機能 1</td><td colspan="2">・日付、時刻を任意に指定し、その日時の再生画像を検索し、表示ができる。
・記録を実施した日時外の任意日時の指定を実施した場合は下記〇がついた動作となる。
[ ] 指定した日時の画像がないことが識別できる
[ ] 指定した日時に最も日時的に近い画像が表示される
[ ] 指定した日時の未来方向で最も近い画像が表示される
[ ] 指定した日時の過去方向で最も近い画像が表示される</td></tr>
<tr><td>性能 1 N1</td><td colspan="2">・指定時刻と検索結果の差異 ：( ) 秒</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">特異時刻指定として、下記〇がついた条件で検索が正常にできるか確認した。
[ ] 日付の桁上がり直前の 23：59 を指定する
[ ] 閏年の 2 月 29 日の時刻を指定する
[ ] プリアラーム記録内の日時を指定する
[ ] 年をまたがって検索時刻を指定する
[ ] 12 月 31 日～1 月 1 日の時刻を指定する</td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で〇印の書類を添付します（複数選択可能）
[ ] 仕様書、 [ ] 取扱説明書、[ ] HP 掲載内容のコピー、[ ] 技術報告書</td><td>必要部数は別途指定</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（ 行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者： （電子入力で代用可：自筆不要）</td><td>測定責任者
押印欄</td></tr>
</table>

注記 氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td>技　術　報　告　書【型式　　】</td><td>測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　共通機能
5.1.9　変速再生</td></tr>
<tr><td>機能名の表記</td><td colspan="2">被測定機器が具備している機能に相当する機能名は下記のとおりです。
機能 1　一時静止再生機能　　⇒
機能 2　順方向コマ送り再生機能　　⇒
機能 3　早送り再生機能、早戻し再生機能　　⇒</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">・標準測定構成図 A を参照下さい</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table><tr><td>記号</td><td>機器名称</td><td>型式品番</td><td>製造会社</td><td>校正年月日</td></tr><tr><td>A</td><td>表示装置</td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">無し</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を〇で囲む)
合格／不合格</td></tr>
<tr><td>機能 1　N1</td><td colspan="2">通常再生ならびに一時静止再生機能にて規定の動作が可能［OK／NG］
・記録時の時刻と、再生時の表示時刻差が　（　　）秒</td></tr>
<tr><td>機能 2　N2</td><td colspan="2">順方向コマ送り再生機能にて規定の動作が可能　［OK／NG］</td></tr>
<tr><td>機能 3　N3</td><td colspan="2">早送り再生、早戻し再生機能ならびに一時静止再生機能にて
規定の動作が可能
［OK／NG］
・早送り速度　（　　）倍速相当
・早戻し速度　（　　）倍速相当</td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で〇印の書類を添付します（複数選択可能）
[　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（　行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能・性能が記載されています。</td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）</td></tr>
</table>

（有効桁数：2 桁以上で記載します）

測定責任者押印欄

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式(例)記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技　術　報　告　書【型式　　】　測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名:
所属部署:
測 定 者:</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td>5.1　共通機能
5.1.10　日時修正</td><td></td></tr>
<tr><td>機能の選択</td><td>被測定機器が具備している機能に該当するものは、下記の中で〇が付いた機能です(複数選択も可能)。
[　] 機能 A ： NTP サーバとの連携による日時修正機能
[　] 機能 B ： その他のタイムサーバ機器との連携による日時修正機能
[　] 機能 C ： その他の方法による機能(　　)</td><td>タイムサーバのメーカ・型番指定あれば記載のこと</td></tr>
<tr><td>システム
系統図</td><td>システム系統図を記載する(系統図が複雑な場合や複数の場合は別紙添付すること)
【NTP サーバの記載例】
システム系統図

NTP サーバとのネットワーク通信プロトコル ： NTP（version x.x）
修正周期(同期周期)設定 ： 24H
測定時間 ： 被測定機器の動作負荷は日時精度に影響を与えないが、毎秒 1 コマ/秒のレートで全チャンネルの通常記録を 168H 以上行った。
同期後の誤差計測方法 ： 被測定機器日時の視覚による情報取得と、有線アナログ電話回線を介した時報 117 の聴覚による情報取得との比較を行った。</td><td>機能が複数ありますのでシステム系統図を別紙 1 に添付します(測定条件含む)。</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td>【NTP ｻｰﾊﾞの一例】
<table>
<tr><th>記号</th><th>機器名称</th><th>型式品番</th><th>製造会社</th><th>校正年月日</th></tr>
<tr><td>A</td><td>社内 NTP ｻｰﾊﾞ
(ｹﾞｰﾄｳｪｲｻｰﾊﾞ)</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>B</td><td>被測定機器</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>C</td><td>ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td><td></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>測定結果は、下記のとおりです。
合格／不合格</td><td></td></tr>
<tr><td>機能 1</td><td>測定開始日時 :　　年　月　日　:00
修正周期　　:　H
測定終了日時 :　　年　月　日　:00(経過時間　H)</td><td></td></tr>
<tr><td>性能 1　N1</td><td>測定終了時の時報 117 との誤差 :　秒</td><td></td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td>下記書類の中で〇印の書類を添付します(複数選択可能)
[　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書</td><td>必要部数は別途指定</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td>頁 (　行目) の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td><td></td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td>上記内容を申請いたします。
測定責任者:　　(電子入力で代用可:自筆不要)</td><td>測定責任者
押印欄</td></tr>
</table>

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です(自筆不要)。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技　術　報　告　書【型式　　】　測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　共通機能
5.1.11　機器異常通知</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">［ 標準構成 A　・　標準構成 B　・　標準構成 C　・　下記系統図 ］を使用</td></tr>
<tr><td>測定条件</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table><tr><td>番号</td><td>機器名称</td><td>型式番号</td><td>製造番号</td><td>校正年月日</td></tr><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。
合格／不合格</td></tr>
<tr><td>機能 1</td><td colspan="2">・(出力：　　、表示：　　)</td></tr>
<tr><td>機能 2</td><td colspan="2">・(出力：　　、表示：　　)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で○印の書類を添付します（複数選択可能）
[ ] 仕様書、 [ ] 取扱説明書、[ ] HP 掲載内容のコピー、[ ] 技術報告書</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（ 行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）</td></tr>
</table>

測定責任者
押印欄

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技　術　報　告　書【型式　　】　測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　共通機能
5.1.12　モードロック</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">［標準構成Ａ　・　標準構成Ｂ　・　標準構成Ｃ　・　下記系統図　］を使用。</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th>記号</th><th>機器名称</th><th>型式品番</th><th>製造会社</th><th>校正年月日</th></tr>
<tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td><td>別紙＊に添付します。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を〇で囲む）
合格／不合格</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>機能 1</td><td colspan="2">・モードロックが機能していることが識別可能である
識別方法：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
・「機器設定」操作が行えない
・「記録停止」操作が行えない</td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で〇印の書類を添付します（複数選択可能）
[　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書</td><td>・識別方法の提示は、添付資料でも可とする。
必要部数は別途指定</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（　行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td><td></td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）</td><td>測定責任者
押印欄</td></tr>
</table>

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（記入様式 1/4）

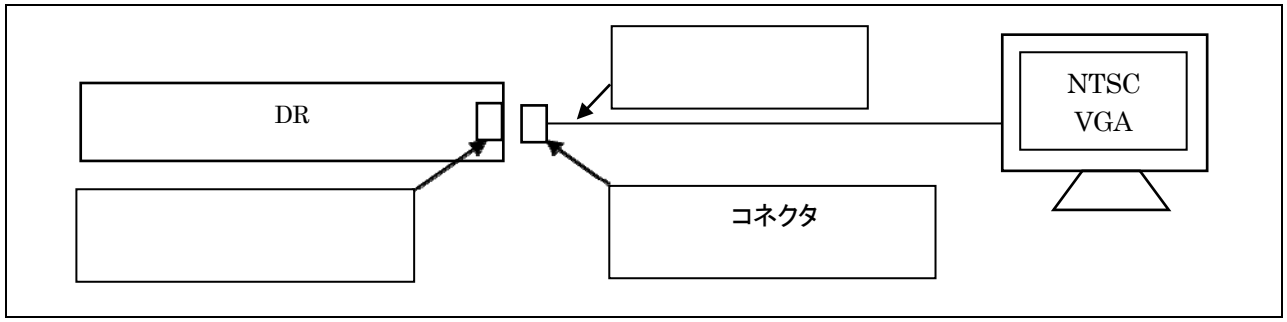
基本操作手順書

記入日:2008.　.

機器型式：

事 業 者 ：

1.表示装置の接続確認



2.モードロック解除　　参照：

モードロック方式：①　　②

③　　④

モードロック解除操作手順

手順	操作目的	操作手順	操作結果	備考

3.録画画像の再生　　参照：

検索方式：①　　②

③　　④

再生操作手順　□　　の場合

手順	操作目的	操作手順	操作結果	備考

4.録画画質の確認　　参照：

画質設定値：SUPER FINE, FINE, NOMAL, EXTENDED　（SUPER FINE が最高画質)

録画画質の確認手順

手順	操作目的	操作手順	操作結果	備考

5.フレームレートの確認　　参照：

フレームレートの確認手順

手順	操作目的	操作手順	操作結果	備考

6.画像取出し方法の概要　　参照：

取出し方式：①　　②

③　　④

①

再生方法:

準備物:

手順	操作目的	操作手順	参照資料	備考

（記入様式 3/4）

②

再生方法:

準備物:

手順	操作目的	操作手順	参照資料	備考

③

再生方法:

準備物:

手順	操作目的	操作手順	参照資料	備考

④

再生方法:

準備物:

手順	操作目的	操作手順	参照資料	備考

RBSS 0003-1
（記入様式 4/4）

7.モードロック設定　　参照：

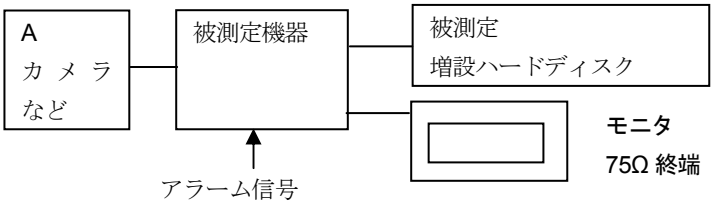
モードロック方式：①

モードロック設定操作手順

手順	操作目的	操作手順	操作結果	備考

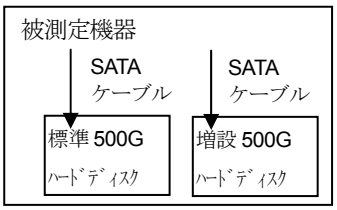
8.前面パネル

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技 術 報 告 書【型式 】 測定日</td><td>年 月 日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分 類
項 目</td><td colspan="2">5.2 高度機能
5.2.1 高密度記録レート</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">測定系統図を記載する（系統図が複雑な場合や複数の場合は別紙添付すること）
 
</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table>
<tr><td>記号</td><td>被測定機器 名称</td><td>型式品番</td><td>製造会社</td><td>校正年月日
（購入年月日）</td></tr>
<tr><td>A</td><td>カメラなど</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能・性能に関する技術解説がある場合は別紙で説明します。
増設ハードディスクが必要な場合には、被測定機器との接続についての技術資料も添付します。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を〇で囲む）
合格／不合格</td><td rowspan="5">“小数点以下がある場合には、2 桁とする。”</td></tr>
<tr><td>機能 1 N1</td><td colspan="2">① 連続記録の記録レート：全チャンネル数（ ）チャンネル、記録レート（ ）コマ／秒、最大（ ）コマ／秒</td></tr>
<tr><td>機能 2 N2</td><td colspan="2">② アラーム記録時の記録レート：全チャンネル数（ ）チャンネル、アラーム記録レート（ ）コマ／秒、最大（ ）コマ／秒</td></tr>
<tr><td>機能 3 N3</td><td colspan="2">① プリアラーム、ポストアラーム：全チャンネル数（ ）チャンネル
② プリアラーム記録レート （ ）コマ／秒、記録時間（ ）秒
③ ポストアラーム記録レート（ ）コマ／秒、記録時間（ ）秒</td></tr>
<tr><td>性能 1 N4</td><td colspan="2">・記録時間（ ）時間</td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で〇印の書類を添付します。
[ ] 仕様書、 [ ] 取扱説明書、[ ] HP 掲載内容のコピー、
[ ] 技術報告書（増設ハードディスク関係書類含む）</td><td>必要部数は別途指定</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（ 行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。</td><td></td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者： （電子入力で代用可：自筆不要）</td><td>測定責任者
押印欄</td></tr>
</table>

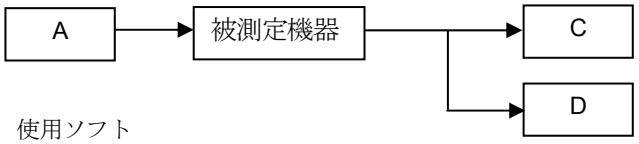
注記 氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

技　術　報　告　書【型式　　】	測定日	年　月　日
会 社 名： 所属部署： 測 定 者：		
分　類 項　目	**5.2　高度機能** **5.2.2　ハードディスク増設**	
機能の選択	[　] 機能 1：記録容量の増加ができる機能 [　] 機能 2：ハードディスクの冗長化ができる機能 [　] 機能 1 及び機能 2：記録容量の増加及びハードディスクの冗長化ができる機能	
測定系統図	測定系統図を記載する（系統図が複雑な場合や複数の場合は別紙添付すること）。 機能 1： 【機器構成】（記入例） （インターフェイスや増設に必要なオプション等も明記すること）  ・増設ハードディスクは、弊社品番　DVR-〇〇を使用する。 ・接続用 SATA ケーブルは、増設ハードディスクに同梱。	注意： リムーバルハードディスクを追加する場合は、そのスロット（スロット数）を明示すること。
測定器一覧		
添付資料	本機能が具備されていること説明する書類（仕様書、取扱説明書、HP 掲載内容のコピー等のいずれか）を添付すること。	注意： リムーバルハードディスクを追加する場合は、そのスロット（スロット数、交換機構等）に交換する方法を明示すること。
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を〇で囲む） 合格／不合格	
機能 1 機能 2	提出書類により、ハードディスクを増設できることを確認 （　）記録容量を増加できる （　）冗長化できる（方式名：　　）	
機能表示書類	下記書類の中で〇印の書類を添付します（複数選択可能） [　] 仕様書、 [　] 取扱説明書、[　] HP 掲載内容のコピー、[　] 技術報告書	必要部数は別途指定
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	頁（　行目）の定格・性能等の欄に、上記項目の機能が記載されています。	
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者：　　（電子入力で代用可：自筆不要）	**測定責任者押印欄**

注記　氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="3">技 術 報 告 書【型式 】 測定日 年 月 日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分 類
項 目</td><td colspan="2">5.2 高度機能
5.2.3 音声記録</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">性能1、性能2
[標準構成A・ 標準構成B・ 標準構成C・ 下記系統図] を使用。
 

B 使用ソフト</td></tr>
<tr><td>測定条件</td><td colspan="2">a) DVD プレーヤーで再生された画像/音声を被測定機器で記録。
b) 16 チャンネル 1 コマ／秒の記録を行いながら b)の音声記録箇所を再生し、画像/音声を目視、聴感により確認。</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2"><table>
<tr><td></td><td>機器名称</td><td>型式品番</td><td>製造会社</td><td>校正年月日</td></tr>
<tr><td>A</td><td>DVD ﾌﾟﾚｰﾔｰ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>B</td><td>使用ソフト</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>C</td><td>ｱﾝﾌﾟ内蔵ｽﾋﾟｰｶ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>D</td><td>NTSC ﾓﾆﾀ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>添付資料</td><td colspan="2">機能に関する技術解説がある場合は別紙で説明する。</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td colspan="2">総合評価は、下記のとおりです。（該当する項目を○で囲む）
合格／不合格</td></tr>
<tr><td rowspan="4">性能 1 N1</td><td>画像と音声の時間差 5 分( )秒, 30 分( )秒, 55 分( )秒</td><td>合格／不合格</td><td>2 秒以内</td></tr>
<tr><td>入力形式 ( )</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>入力レベル (dBv)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>入力インピーダンス ( )Ω</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>性能 2 N2</td><td>周波数特性又は ( )Hz～( )Hz
ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ周波数 ( )Hz</td><td>合格／不合格</td><td>300Hz～3kHz,
8kHz 以上</td></tr>
<tr><td>性能 2 N3</td><td>S/N ( )dB</td><td>合格／不合格</td><td>45dB 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>出力形式 (該当するものに○印)
[ライン出力 ・ ﾓﾆﾀｽﾋﾟｰｶ出力 ・ ｽﾋﾟｰｶ内蔵 ・ その他( )]</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>出力レベル (dBv)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>出力インピーダンス ( )Ω</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>記録方式 ( )</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>機能表示書類</td><td colspan="2">下記書類の中で○印の書類を添付します（複数選択可能）
[ ] 仕様書、 [ ] 取扱説明書、[ ] HP 掲載内容のコピー、[ ] 技術報告書</td><td>必要部数は別途指定</td></tr>
<tr><td>仕様書
取扱説明書
HP 掲載</td><td colspan="2">頁（ 行目）の仕様（音声）の項に、上記項目の機能が記載されています。</td></tr>
<tr><td>責任者押印等</td><td colspan="2">上記内容を申請いたします。
測定責任者： （電子入力で代用可：自筆不要）</td><td>測定責任者
押印欄</td></tr>
</table>

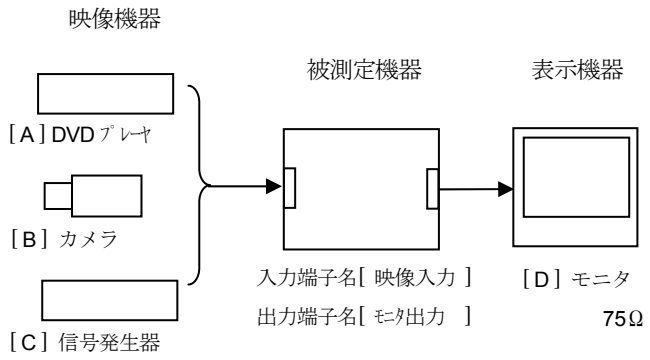
注記 氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です（自筆不要）。

【付録資料 02】 測定系統図(標準構成例)デジタルレコーダ編:RBSS 機器認定基準サンプル

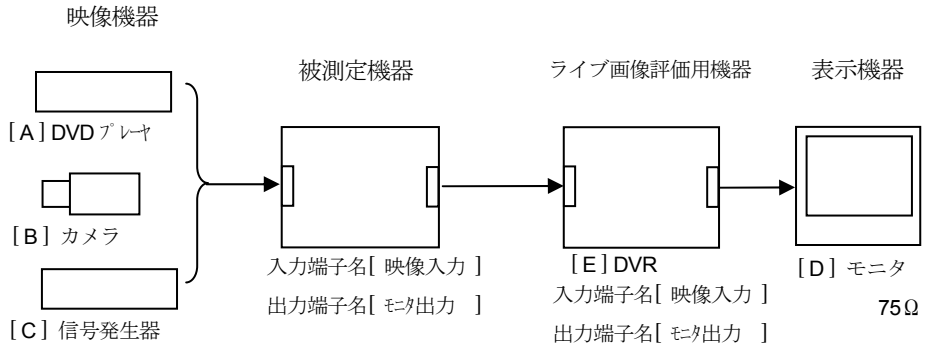
技 術 報 告 書【No.□□□□】	作成日	年 月 日

会 社 名:
所属部署:
測 定 者:

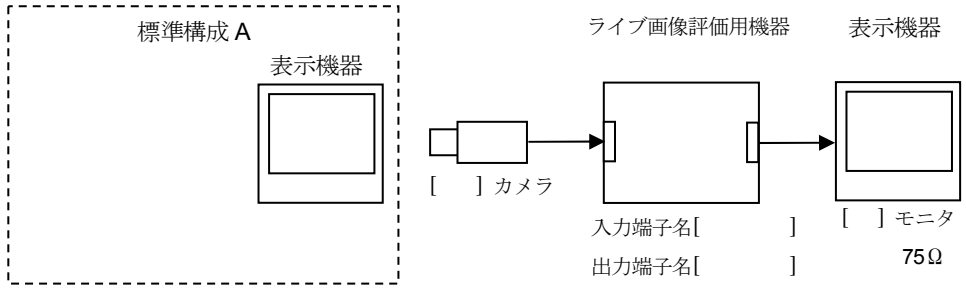
標準構成 A
[あり・なし]



標準構成 B
[あり・なし]



標準構成 C
[あり・なし]



測定器一覧

番号	機器名称	型式番号	製造番号	校正年月日
A	DVD プレーヤ			
B	カメラ			
C	信号発生器			
D	モニタ			
E	DVR			

責任者押印等

上記内容を申請いたします。
測定責任者: (電子入力で代用可:自筆不要)

測定責任者
押印欄

注意 : 氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能です(自筆不要)。

技術報告書に記載する場合

（申請者提出用様式（例）記載サンプル）

<table>
<tr><td colspan="2">技　術　報　告　書【型式　　】　　測定日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">会 社 名：
所属部署：
測 定 者：</td></tr>
<tr><td>分　類
項　目</td><td colspan="2">5.1　XXXX
5.1.X　XXXX</td></tr>
<tr><td>測定系統図</td><td colspan="2">[標準構成 A ・ 標準構成 B ・ 標準構成 B’ ・ 下記系統図] を使用。
選択方式。個別が必要なものは書いてもらう</td></tr>
<tr><td>測定条件</td><td colspan="2">（記入例）
・映像機器は　DVD プレーヤを使用
使用ソフト：K.M.Lab 製、Test Signals on DVD、カウントアップ映像
・全チャンネルに入力</td></tr>
<tr><td>測定器一覧</td><td colspan="2">デジタルレコーダ（防犯用）評価画像
<table>
<tr><th>番号</th><th>機器名称</th><th>型式番号</th><th>製造番号</th><th>校正年月日</th></tr>
<tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

(3) 評価シート ⇒ デジタルレコーダ(防犯用)評価画像

HDR 評価 Ver.4.0

防犯用HDR標準画像評価シート:記録再生画像評価用 Ver. 4.0

会社名	
型式(機種名)	

調査日	
画像圧縮方式	
使用した評価画像 No.	【 】

測定方法:

① DVDプレーヤーに測定する被測定機器「デジタルレコーダ(防犯用)以下HDRと称す」を接続し、HDRの再生出力にモニタを接続する。

② DVDプレーヤーに"デジタルレコーダ(防犯用)評価画像【DVD版 Version 1.0】"を入れ、TOP メニューの標準画像などから、最も鮮明に記録・再生できる画像を再生する。

③ 防犯用HDRで全ての調査画質を選定し記録する。HDRで該当調査画質を再生し各画角の評価チャートを評価する。

④ 画像圧縮方式を右上に記載する。但し、1 枚あたりの記録容量はMPEGやウエブレットなど画像圧縮方式により大きく違うので記録しない。

画 像	画角	人物チャート	モニタ上	カラーチャート	モニタ上	文字・数字チャート	モニタ上
最高画質 画質名(1)	C	人物の目鼻がはっきり見える、人相が識別できる		色が判別できる(8色以上)		③の文字が読める	
	B	人物の目鼻の特徴が分かる		色が判別できる(6色以上)		①の文字が読める	
	A	男女の区別がつく		原色が判別できる(赤、緑、青)		⑤の文字が読める	
2 番目の高画質 画質名(2)	C	人物の目鼻がはっきり見える、人相が識別できる		色が判別できる(8色以上)		③の文字が読める	
	B	人物の目鼻の特徴が分かる		色が判別できる(6色以上)		①の文字が読める	
	A	男女の区別がつく		原色が判別できる(赤、緑、青)		⑤の文字が読める	
3番目の高画質 画質名(3)	C	人物の目鼻がはっきり見える、人相が識別できる		色が判別できる(8色以上)		③の文字が読める	
	B	人物の目鼻の特徴が分かる		色が判別できる(6色以上)		①の文字が読める	
	A	男女の区別がつく		原色が判別できる(赤、緑、青)		⑤の文字が読める	
4番目の高画質 画質名(4)	C	人物の目鼻がはっきり見える、人相が識別できる		色が判別できる(8色以上)		③の文字が読める	
	B	人物の目鼻の特徴が分かる		色が判別できる(6色以上)		①の文字が読める	
	A	男女の区別がつく		原色が判別できる(赤、緑、青)		⑤の文字が読める	
5番目の高画質 画質名(5)	C	人物の目鼻がはっきり見える、人相が識別できる		色が判別できる(8色以上)		③の文字が読める	
	B	人物の目鼻の特徴が分かる		色が判別できる(6色以上)		①の文字が読める	
	A	男女の区別がつく		原色が判別できる(赤、緑、青)		⑤の文字が読める	

(4) 評価ガイドライン

判定の詳細

■ 人物チャート	判断者には、下記判断する特徴点の評価基準を説明し評価させる。 判定者は下記特徴点でOKになった数字項目を上記シートに記入して、さらにOKかNG記号を記入する。	
画角C	人物チャートの画角で「人物の目鼻がはっきり見える、人相が識別できる」とは、以下の特徴点での判断による。 ①と②は必須、③～⑥の 4 項目中 3 項目がOKであれば、全体でOKとする。	
	特徴点	判断基準
	①あごの形状がわかる	あごの輪郭の境がわかるだけではNG、あごの輪郭が歪むが左右の違いがわかればOK。
	②女性のほほのふくらみがわかる	ほほの輪郭の境がわかるだけではNG、ほほの輪郭が歪むが盛り上がりがわかればOK。
	③眉の形状がわかる	眉とは分からないが何か映っているだけではNG、眉の輪郭が歪むが眉とわかればOK。
	④歯並びがわかる	歯とは分からないが何か映っているだけではNG、歯であることがわかればOK。
	⑤男性の髪の分け目がわかる	分け目らしきものが見えるだけではNG、分け目の輪郭は歪むが分け目としてわかればOK。
	⑥男性の白目がわかる	白目らしきものが映っているだけではNG、輪郭は歪むが白目と黒目の区別がつけばOK。
画角B	人物チャートの画角で「人物の目鼻の特徴が分かる」とは、以下の特徴点での判断による。2 項目ともOKであること。	
	特徴点	判断基準
	①目と鼻が特定できる	目と鼻の区別がつき、両者の中心及びそれらの距離関係を示せる場合はOK。
	②あごの輪郭がわかる	あごの輪郭の境がわかる場合はOK。
画角A	人物チャートの画角で「男女の区別がつく」とは、以下の特徴点での判断による。	
	特徴点	判断基準
	①左の男性と右の女性の区別がつく	左と右の人物を見比べて、髪の長さから男性と女性を区別して指摘できればOK。

■ 文字・数字チャート	判断者は元の文字内容を知らない者が行い、判断者が判読文字を読み上げ判定者が記録する。 判定者は合否にあたって、「1とI」「5とS」「DとO（オー）とO（ゼロ）」「2とZ」の文字の場合においては、各々の組合せ内での読み間違いは合と判定する。 判定者は記録された判断者の文字について合否判定し、さらに画角毎の基準にもとづく合否判定する。
画角C	判断者には「文字・数字チャートの上から 3 番目③の文字は21文字の英字または数字である」ことを告げてから判断させる。 記録された判断者の文字について合否判定し合っている文字数を記入して、さらに下記基準にもとづきOKかNGを記入する。 21文字の合否を判定し、60%以上の 13文字以上が正しく回答されていればOKとする。
画角B	判断者には「文字・数字チャートの一番上①の文字は8文字の英字または数字である」ことを告げてから判断させる。 記録された判断者の文字について合否判定し合っている文字数を記入して、さらに下記基準にもとづきOKかNGを記入する。 8文字の合否を判定し、60%以上の5文字以上が正しく回答されていればOKとする。
画角A	判断者には「文字・数字チャートの一番左下⑤の文字は4文字の数字である」ことを告げてから判断させる。 記録された判断者の文字について合否判定し合っている文字数を記入して、さらに下記基準にもとづきOKかNGを記入する。 4文字の合否を判定し、2文字以上が正しく回答されていればOKとする。

【改訂履歴】改訂・追加・訂正・削除などの履歴

(2)　2009.11.17 訂正

・“5.1.1 連続動作など”の“性能 3 MTBF”について備考欄に注記した。

・“5.1.2 記録画質と画像サイズ”の“性能 1、性能 3”について備考欄に注記した。

・“2.2.2 ハードディク 増設”に、リムーバルハードディスクについて追記した。

(1)　2009.4.14 訂正

・“○”⇒“〇”等の誤植を修正した。

・25 頁に、“ (3)評価シート　デジタルレコーダ（防犯用）評価画像”を追加した。